

静岡市立賤機中小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年5月18日（火）

実物に触れることで理解が深まりました！



周囲を住宅や新緑が美しい山に囲まれた、安倍川沿いにある学校でした。当日は、「石器の試し切り」「土器の分類」「火起こし」等の古代の人々の生活の一部を体験しました。まだ歴史の学習が始まっていませんでしたが、石器や土器についての知識がある児童もいました。本物の石器や土器に触れたり、火起こし体験を通して古代の人々の暮らしを思い描いたりしていました。

◎石器の試し切り体験

石器（黒曜石）を使って野菜を切る体験をしました。各自で家から持ってきたブロッコリーの芯やキャベツの葉、ニンジン等も切ることができ、黒曜石で堅い物も切れることを知って驚いていました。この黒曜石を伊豆諸島や長野県まで出かけて行って手に入れていたことを知り、さらに驚いていました。



◎土器分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器について詳しく説明を受けた後、実際に出土した土器を手に取り、重さや肌触り、模様などを実感しながら、土器片を各班で分類しました。それぞれの時代の土器の特徴や違いを班内で意見交換しながら分類することができました。



◎火起こし体験

最初は、なかなか弾み車をリズムよく回すことができず、火種を作ることができませんでした。必死になって弾み車をまわし、やっとのことで火種ができ、火口に火種をそっと置きました。さあ、ここからが大事な「フーフタイム」です。しばらく息を吹きかけると、やっと火が起きました。火種を作ることや火種から火にすることがこんなに大変だとは思ってもみなかったようですが、みんな良く集中していました。

